

現代保育の一缺陷

目白幼稚園長　和田　實

幼稚園の教育がすべての教育の萌芽であり、一般教育系統の基礎であることは今更事新しく述べ立てるまでもありません。乍併この幼稚園の教育が一般教育系統の内にあつて實際何れだけ必至の役目を負はせられて居りませうか、否ひとり幼稚園教育のみならず、それ以上の學校教育にまれ、中學校教育にまれ、全體の教育系統の上に於て他との連絡が遺憾なく遂げられてゐて、それ自身として獨自の任務を持つてゐるものは一つもないのです。より早き階段に於て始めらるべき教育が正當の理由なくして遅らされ、若しくは同じ教育を再び三度繰り返して徒らに時間と労力とを浪費せしめて居る場合が決して渺いとは言はれないのであります。

上述の如く我が國の教育系統の全體があまり緊密な、必至な關係になつて居ず、従つて連絡といふ點から見て隨分遺憾な場合が渺くないのです。ですが、其の中で最も連絡の取れて居ないのは幼稚園と小學校との間であります。

我が國に於ける目下の形勢は幼稚園は幼稚園、小學校は小學校といつた形になつてゐて、少しも連絡がついて居りません。世間でも幼稚園と小學校との問題をいろいろ矢釜しく論じて居りますが未だ實際に資するやうな連絡の案は見出されずに居ります。私はこのことを甚だ遺憾に思ひます。これでは教育全體の案が立つてゐないと言はれても仕方がないのであります。教育の實際的效果の多かるべき筈がありません。

小學校とか中學校とかいふやうに或る時期を横

に切つてその時だけの案を立てずに、幼稚園から始つてズット繼續した全部の案を立てなければなりません。この案が具體的に出来てゐないばかりでなく、保母自身の頭の中にこの案が立つてゐないやうでは實に日々に行はれる所の保育が果して何に依憑して居るのでありますか、頗る寒心に耐えないのであります。

故に問題は教育の全體の案を立てるといふこととその全體の案をよく會得して臨機の保育を行ひ得る所の保母を養成するといふこと、の二つであります。

今の保母は全體の案を知らずに、たゞ幼稚園だから斯うするといふだけで、それが全體に何ういふ關係を持つて行くかをチツとも知らないのであります。これが保母の資格の上に存する重大なる欠陥であります。この全體の案といふものを、保母が知つてゐたらば幼稚園教育が今よりもズット

效果の多いものとなるであります。

上の如き理由から幼稚園の保母の修養といふことにもう少し重きを置いて、保母自身の資格を高めなければ保育は發達しません。しかし斯ういふと保母といふものは非常に六ヶ敷いものとなります。さうなつて來ると幼稚園の先生といふものは容易に得られないこととなります。つまりこのことは言ふべくして行ひ難きこと、言はれても仕方がありません、しかし幼稚園の保母として誰も彼も皆この様に立派な人々を得るといふことは成程困難に違ひありません。しかし皆が皆さうでなくとも、せめて主任の保母だけは前に述べたところの問題に答へ得る人々を欲しいと思ひます。

幼稚園といふもの、效果を多からしむるためには何うしてもこの連絡問題がうまく解決せられて居なくてはいけません。さうでないと幼稚園で折角骨を折つて與へた教育が小學校へ行つて無意識的に破壊される場合もあります、既に幼稚園に

於て着手すべきであつた教育を小學校に於て遅れて着手するといふやうな場合も起つて來ませう。斯かる不便、不利を除くためには何うしても幼兒教育を基礎として、そこから形式的にも實質的にも十分連絡のある案を立て、行かなくてはならないであらうと思ひます。中學校は中學校、小學校は小學校、幼稚園は幼稚園といふやうにバラ／＼になつてゐるのでは、とても有機的に連絡の一貫した教育は行はれ難いのであります。

世間にも大分小學校と幼稚園の連絡問題に思ひを致して居る人があるやうで甚だ結構であります。が、それらの人々は主もに學科其他の實質的の方面にのみ重きを置きすぎてゐる憾みがないでもありません。この實質的の方面の連絡といふことの必要であることは無論であります、それにも増して大切なことは子供の内心に入つて行つた精神生活の上の連絡といふことであります。それから又教育の方法の上に於ての連絡といふやうなこと

も何うも度外に置かれて居るやうであります、それとても大いに考へなければならないことあります。我々はむしろ同じ方針で終始一貫した教育方法を探つて行きたいと思ふのであります、何よりも子供の精神生活をなめらかに發展させて行くやうに萬事が計畫されることが望しいのであります。（文責在記者）

京阪神三市聯合保育會

京阪神三市聯合保育會にては六月九日午前九時より兵庫縣立神戸高等女學校に於て第二十五回の會合を催す旨。

一、報告

- (一)身體検査ニ付キテ
- (二)道徳意識ノ調査

一、講演

- (一)感情作用ヲ手段トシテノ幼兒養育ノ一面

文學士 檜崎淺太郎氏
京都保育會幹事

一、研究題

京都保育會提出

- (一)幼兒ニ文字ヲ教フルノ可否
- (二)幼兒ノ注意力ノ正當ナル發達ヲ害スル事ナカラニ爲ニ又ソノ發達ヲ誘導スル爲ニ幼稚園ニ於テ如何ナル注意ヲ要スベキヤ
- 又ソノ爲ニ特ニ有効ナル方法アリヤ（神戸市保育會提出）

（以下略）